

## 問 5歳児健診の実施について 村の考えは

答 令和8年4月から5歳児健診を実施



公明党  
おかざき さとる 議員  
岡崎 悟

**問** こども家庭庁は、発達障がいを見極めるのに有効な「5歳児健診」の普及を進めている。この有効な健診の実施について考えを伺う。

**答** 令和8年4月からの5歳児健診の実施に向け、医師や公認心理師、保健師、看護師、保育士等と調整をし、教育委員会指導室や子ども発達支援センター、総合相談支援課等の関係部署と連携協力を行って、実施準備を進めている。「5歳児健診」は、個人の成長や発達を診察するだけでなく、集団生活に



健やかな成長を見守る5歳児健診

おける行動面を評価し、社会的な発達の状況を把握することで、発達障がい等のスクリーニングや、子どもと家族、地域社会とのつながりなど、人間関係の豊かさなどを含む個々の生活習慣を把握し、保健指導にもつながるものと考えている。この健診の結果から、就学に向けてそれぞれ必要な支援やフォローアップ体制を検討・調整し、必要な情報を教育委員会指導室や学校に引き継ぐことで、子どもの健やかな成長を支援したい。

## 問 学童に原子力災害対応体制を

答 学校等と同様の体制を整備する



新政とうかい  
みやもと しょうた 議員  
宮本 翔太

**問** 本年7月に本村で発令された津波警報を受け、夏休み中の学童クラブで過ごす子どもたちの安全確保について確認する必要があると感じた。本村の学童クラブにおける避難マニュアルの整備状況は、火災、地震、不審者対応などのマニュアルは整備しているが、原子力災害および津波の対応については現在整備されていない。

**問** 学校は文部科学省の基準で原子力災害対応が求められる一方で、学童クラブはこども家庭庁の所管であり、同

様の基準が存在しない。学童が制度の空白地帯になっているのではないかと。本村として学校施設等と同等の避難体制を整備するべきと考えるがいかがが。

**答** 本村の「原子力災害に備えた東海村住民避難計画」において、学童クラブは「学校等」に含まれ、学校施設等と同様の避難体制を執ることとなる。年度内を目途に原子力災害時の危機管理マニュアルを策定し、民間学童クラブに対しても作成の支援をしていく。



テルウェル東海村学童クラブが作成した危機管理マニュアル